

# 大腸ポリープ切除を受けられる方へ

大腸ポリープがあった場合にはその治療も同時に行えるという利点があります。この大腸ポリープとは、大腸の内側の粘膜から発生するいぼ状の腫瘤で、小さいものは2～3mmから大きなものは3cmを超えるようなものもあります。形ははきのこのように茎を持っているものから、茎のないものや、平盤状のものなど、色々な形のものがあります。この中でも特に茎の無いものは早期のがんである確率が高く、そのようなものは見つけ次第切除しておく必要があります。

## 【大腸ポリープ切除の方法(ポリペクトミー)】

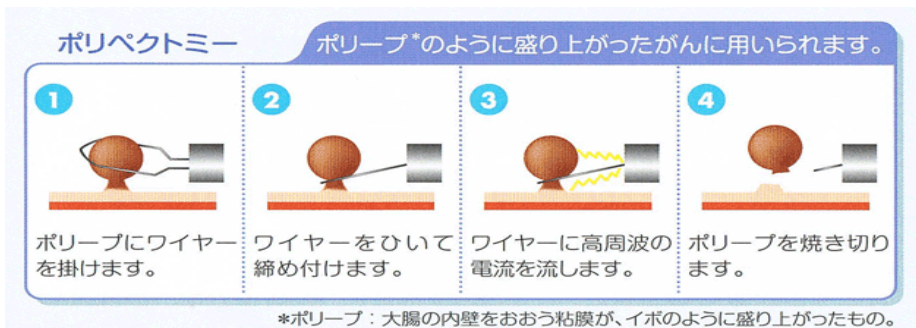
最近ではポリープを切除するためにお腹を開いて手術をするような事はほとんどなく、この大腸内視鏡を使って、検査と同時にポリープのを切除する方法(ポリペクトミー)が普及しています。

ただこれらの方法は電氣的に大腸の粘膜を焼いて取るため多少の危険を伴います。

## 【考えられる合併症】

まず一つは術後出血で実施後1～5日後に血便がある場合がありますが、ほとんど場合は、安静にしているだけで止血します。

もう一つは腸の穿孔(壁に孔が開く事)です。この場合は強い腹痛を伴い、手術が必要となります。



## 【日帰り手術】

大腸内視鏡検査でポリープが見つかった場合、当院ではご本人やご家族の了承がある場合は、日を改めずに、そのまま検査中にポリープ切除を行うことも可能ですので、ご希望の方は出来るだけ前もってご相談下さい。

## 【費用(保険点数)】

大腸ポリープ切除は通常の大腸内視鏡検査とほとんど同じ手順でおこなわれますが、診断のための検査ではなく、あくまで手術に準じた治療ですのでその費用も数倍高くなりますのでご了承下さい。

## 同意書

私は 大腸ポリープ切除の目的と方法・危険性について医師の説明および上記の記載事項を十分理解いたしました。ひうらクリニックで大腸ポリープ切除を受けることに同意します。

この説明により、予定される検査および関連事項についてよく理解できましたので、ポリープ切除の実施を申し込みます。

平成 年 月 日

患者さん氏名

印 ご家族氏名

印